

平成 30 年度門前保育園事業計画

1、保育理念(事業運営方針)

当施設を利用する(子ども・保護者・地域の方々)一人ひとりを大切にし、地域から愛され、また地域から必要とされる施設作りを目指します。

2、保育方針

心と体の自立を促し、たくましい子ども

3、保育目標

- ・丈夫な身体の子ども
- ・協調性をもち、友達を大事にできる子ども
- ・物をはっきり言える子ども
- ・よい、わるいがわかり行動できる子ども
- ・最後までがんばれる子ども
- ・あいさつのできる子ども

4、子どもの保育目標

- 0 歳児 - 個々の生活リズムを整え、基本的な生活習慣を養う
個々の要求を受け止め、着行動や信頼関係を育み関心が広がるようにする
- 1 歳児 - 安心できる保育者との関係の下で自分でしようとする気持ちが芽生える
戸外活動や探索活動を通して様々なものに興味を持つ
遊びの中で自分の思いを表現し、友達との関わりへと広げる
- 2 歳児 - 食事、睡眠、排泄や衣服の着脱などの基本的習慣を身に付け、自分でやってみようとする
保育者や友達との関わりを通して自分の思いを言葉や行動で表現できるようにする
- 3 歳児 - 安心安全な環境を整え、くつろいだ雰囲気と興味関心を持てるの場を作る
基本的な生活習慣を身に付け、自分で取り組む
遊びのルールを覚え、友達との関わり相手の気持ちを考えながら楽しく遊ぶ
- 4 歳児 - 基本的な生活習慣を身に付け、友達と元気に楽しく遊ぶ
色々な経験を通して生活に必要な言葉を身に付け、感じたことを表現する
全身を動かして遊ぶ楽しさを味わいながら丈夫な体をつくる
- 5 歳児 - 基本的な生活習慣を身に付け、自分で出来ることの範囲を広げながら園生活を健康に生き生きと過ごす
主体性を持って意欲的に活動に取り組みやり遂げた達成感、充実感を味わう
考えや思いを伝え相手の気持ちに気づき、良いこと悪いことを考えて行動できるようにする

5、園児数・職員数・職員配置

(1) 職員数

・園長	1名
・事務長	1名
・副園長	2名 (うち1名看護師兼任)
・主任保育士	2名
・保育士	11名
・パート保育士	1名
・看護師	1名
・栄養士	1名
・調理師	3名
・調理補助兼事務	1名
・保育補助	4名

(2) 4月当初園児数

内訳	市内	市外(広域)	合計
入園	7	0	7
継続	109	0	109
合計	116	0	116

(3) 職員配置(4月1日当初)

年齢	クラス名	園児数(新入)	職員数	備考
0歳	ひよこ組	5(4)	3	
1歳	こりす組	16(0)	4	
2歳	りす組	17(2)	3	
3歳	はと組	27(0)	3	
4歳	うさぎ組	21(0)	2	
5歳	ぞう組	30(1)	3	
合計	6クラス	116(7)	18	

・ 給食担当 栄養士 1名 調理師 3名 調理補助 1名

・ 事務室 園長 1名 副園長 2名 看護師 1名

6、保育園開所時間

月曜日～金曜日 7:00 から 19:30

土曜日 7:00 から 18:30

7、特別保育事業

- 一時預かり保育事業 — 一時的に保育ができない場合の保護者の支援を行う
時間 月～土曜日 8:30～17:30

料金表
(円)

年齢	1日	半日	1時間	給食費
3歳未満児	2,000	1,000	300	300
3歳以上児	1,500		200	200

- 延長保育事業

	標準時間保育	短時間保育
月～金曜日	18:00～19:30 (1時間30分)	16:30～
土曜日	18:00～18:30 (30分)	
利用料	1ヶ月 (10日以上利用)	2,000 円
	1回	200 円

- 休日保育事業

時間 日曜祝祭日 8:00～17:00
料金 無し

- 病児・病後児保育事業(体調不良時対応型)

登園後体調が悪くなった児童を保健室、又は保育室で経過観察、処置等をしながら保護者の迎えを待つ。

- 障害児保育

障害を持つ幼児が健常児と日常的に関わるとともに、その幼児の成長を保育支援する

- ・平成30年度 対象児童 1名
3歳児 軽度障害児 (ファロー四徴症による心機能障害)

- 地域活動事業

地域の需要に応じた幅広い活動(異年齢交流)を行う

- ・世代間交流 地域の一人暮らしの方、同法人のグループホーム入居者の方との交流
- ・保育実習の受入 中学生、高校生、大学生等

8、職員研修計画

- ・保育理念・保育方針・保育目標に基づき、保育過程・年間、月間指導計画、週案を策定し、児童福祉の増進を目指す。
- ・研修について 園外研修に積極的に参加し、園内で全職員に復命を行い、研修での学びを共有して保育士の人間性、専門性を高めるなどの資質向上を図る。
- ・園内研修計画を充実させ、月1回職員研修日を設ける

9、給食・食育の取り組み

年間給食活動計画添付

年齢別給食目標 — 食を営む力の基礎

- 0歳児 — 食べることに意欲を持つ
- 1歳児 — 食材に興味を持つ
- 2歳児 — 意欲的に食べるようになる
- 3歳児 — 食べることの楽しさを知る
- 4歳児 — 食べることにより、全ての命の大切さを知る
- 5歳児 — 三食食品群に興味を持ちながら、食事を楽しむ

・栄養給与目標（給食、おやつで摂りたい栄養量の目安）

	エネルギー kcal	蛋白質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミンA mg	ビタミンB ₁ mg	ビタミンB ₂ mg	ビタミンC mg	食塩相当量 g
1～2歳児	542	27.1	21.0	247	8.1	357.5	0.30	0.33	18	1.8
3歳以上児	598	29.8	16.6	269	7.1	269.5	0.33	0.38	19	2.0

* 1日の給与栄養量のうち、昼食+おやつで給与する比率 → 47%

・アレルギー対応食に関して

子どもの健康と安全の向上に資する観点から、子どもの食物アレルギー等に配慮した食事の提供を行うとともに、誤配及び誤食等の発生予防に努める。

- ① 入園面接時にアレルギーについて保育園での配慮が必要な場合申し出てもらう。
「食物アレルギー個別調査書」を配布し記入提出してもらう。園での対応が必要な場合には医師により「アレルギー指示書」や「生活管理表」を記入してもらい提出してもらう。
- ② 安易な食事制限や除去をせず、医師に指示を受け対応する。また、家庭との連携を密にし、その対応に相違がないよう十分に心がける。症状の改善に速やかに対応する。
- ③ 医師の指示が有り食品の除去、代替食等を必要とする場合には可能な限り対応する。ショック症状や呼吸困難等強い症状が出現する場合には厳格に除去する。食品の除去や代替食の対応が困難な場合には家族からの協力を得る。
- ④ 卵・牛乳・乳製品・大豆等のタンパク質製品や、小麦粉・米等の炭水化物を除去する場合には、身体的発育に必要な栄養素が不足しないよう栄養のバランスのとれた食事になるよう調整する。

- ⑤ 食事の除去や代替食等を必要とする場合にも、皆と同じ物を食べたい子どもの気持ちを大切にし、同じような献立になるように配慮する。
- ⑥ 保護者に使用食材と除去・代替の内容を説明する。
- ⑦ 保育園で初めて食べることを避ける。
- ⑧ アレルギー対応食はできるだけ単純化し、調理室においては対立的でコンタミネーションの無い調理と搬送を心がける。
- ⑨ 加工食品においても原材料をよく確認する。
- ⑩ 職員間での知識と情報の共有を行う。

・離乳食に関して

「離乳の基本」が改定され、個人差を考え、無理のない離乳を進めていく。アレルギー児の「食物除去」も、それぞれの子どもの症状により対応し、必要により除去解除できるようにしていく。

〈離乳食の進め方〉

- ① 食べやすい形で・・・子どもの状態にふさわしい形で与える。手づかみ食べを十分にし、噛める子どもに育てる。
- ② 栄養と食品のバランスを考えて・・・準備機は別として、ある程度進んだら離乳食の中に穀類・タンパク質類・野菜の三種類を合わせる。
- ③ 薄味で・・・調味料をできるだけ使わず、素材の味を生かして調理する。

・衛生管理

衛生チェック表を作成し、毎日衛生項目に沿って確認する。

調理担当者・乳児クラスの担当職員の細菌検査（毎月1回）、調理室の掃除、ワゴンの清拭（毎日）、冷蔵庫消毒、保管原材料・調理済み食品の保存（2週間）をしていく。

10、保健活動について

平成30年度保健活動計画添付

年間保険目標

- 1、生活リズムを整え、基本的な生活習慣を身につける。
- 2、子どもたちが健康に関心を持ち、適切な行動がとれるように健康教育と生活習慣への指導を行う

目標達成のため次の点に取り組む

- ① 日常養護・健康管理
- ② 病気の予防と早期発見
- ③ 安全と事故防止
- ④ 健康増進と保健指導
- ⑤ 環境衛生

- ・保健行事
 - 内科健診 全園児対象 年2回（7月、12月）
 - 歯科健診 全園児対象 年1回（6月）
 - 身体測定 全園児対象 毎月実施
 - 視力検査 うさぎ組（4歳児）対象 10～11月実施
 - 嘱託医 内科 千田修先生（ちだ医院院長）
 - 歯科 岩本一夫先生（岩本歯科医院院長）
- ・月1回または適宜ほけん便りを発行し、病気等について、健康管理について情報を提供し、保護者と連携して子どもの健康を守る
- ・感染症流行時期には、保護者へ状況がわかるよう掲示する
- ・保育園での内服薬の取り扱い
 - 薬の依頼書を記入してもらい、毎日1回分ずつに分包した薬を保育者に手渡ししてもらおう。
 - 与薬は各クラスの担任が行う
- ・保育途中で体調不良となった児童については、保健室又は各保育室で状態確認、応急処置を行うとともに保護者へ状況を報告し、必要であればお迎えを依頼する。

1 1、安全管理、事故防止

- ・毎月の避難訓練（火災、地震、不審者対応等）
- ・年1回の消防署査察、消防点検、総合避難訓練、通報訓練、消火訓練
- ・年2回交通安全教室
- ・職員を対象とした救命講習会の実施
- ・毎月1回遊具安全点検
- ・ヒヤリハットの情報を収集、分析して全職員で事故の未然防止に努める

1 1、苦情解決について

- ・保護者に対し、年度始め（途中入所者には入所時）に苦情解決の取り組みについてパンフレットを配布し周知する
- ・意見要望、苦情等に対応するため、園長を苦情解決責任者、副園長を苦情受付担当者を置き、苦情解決実施要項に基づき必要な措置を講ずる
- ・苦情については第三者委員に依頼し、公平な対応を講じる

平成 30 年度 保健活動計画表

目標 1、生活リズムを整え、基本的な生活習慣を身につける

2、子どもたちが健康に関心を持ち、適切な行動がとれるように健康教育と生活習慣への指導を行う

	保健目標	保健便り	保健指導	保健管理
4月	新しい環境に慣れ、元気に登園しましょう	・園医の紹介 ・生活のリズムを作る ことについて	・「早寝早起き朝ごはん」について (以上児) ・手洗いの仕方 (ぞう組)	・各クラスの薬箱の点検 ・薬品・衛生用品の補充 ・砂場の消毒 ・頭囲、胸囲測定 (全園児)
5月	・戸外で元気にあそびましよう ・手をきれいに洗いましよう	・4月の健康状況 ・ハンカチを持ってこよう ・効果的な手洗いについて	・手洗いの仕方 (はと組) ・予防接種をすすめる	・砂場の消毒 ・薬箱の点検 ・職員健康診断
6月	ていねいに歯磨きをしましよう	・5月の健康状況 ・虫歯のでき方 ・仕上げ磨きの必要性	・正しい歯磨き方法 (以上児) ・給食時の歯磨き指導 (はと組)	・砂場の消毒 ・害虫駆除
7月	暑さに負けない体をつくろう	・6月の健康状況 ・仕上げ磨きについて ・子どもの事故について	・給食時の歯磨き指導 (はと、うさぎ組)	・砂場の消毒 ・薬箱の点検 ・害虫駆除
8月	清潔に気持ちよく過ごそう	・脱水に気をつけよう ・上手な水分補給について ・夏の皮膚トラブル	・手洗いについて (りす組) ・水分補給について (以上児)	・砂場の消毒 ・薬箱の点検 ・おもちゃの消毒 ・害虫駆除
9月	生活リズムを整え体力の回復を図りましよう	・運動会へ向けての健康管理 ・正しい手洗いの方法	・手洗いについて (りす組以上児)	・砂場の消毒 ・薬箱の点検 ・おもちゃの消毒
10月	目を大切にしよう	・効果的なうがいの仕方 ・乳幼児の視力の発達について	・うがいの方法 (以上児) ・視力検査について (うさぎ組)	・視力検査(うさぎ組) ・薬箱の点検
11月	戸外で運動し寒さに負けない身体をつくろう	・子どもの体力について ・冬のスキンケア	・体を使って遊ぶ(うさぎ、ぞう組)	・視力検査 ・薬箱の点検 ・おもちゃの消毒
12月	うがい手洗いをしてカゼを予防しましよう	・正しい手洗いの見直し ・胃腸炎の予防について	・手洗いの確認 (以上児)	・薬箱の点検 ・おもちゃの消毒
1月	姿勢を正して元気に過ごそう	・外遊びで体を動かそう ・体を使った遊びの方法	・手洗いの確認 (以上児) ・和式トイレの使い方 (ぞう組)	・薬箱の点検 ・おもちゃの消毒
2月	鼻を上手にかみましよう	・インフルエンザについて ・ハンカチを持ってこよう	・手洗いの確認 (りす以上児) ・歯磨き指導 (りす組)	・薬箱の点検 ・おもちゃの消毒
3月	一年間の成長を喜び合いましよう	・生活習慣の見直し ・耳の健康	・生活を見直す (ぞう組)	・薬箱の点検 ・おもちゃの消毒 ・砂場の消毒

0歳児 — 身長・体重・頭囲・胸囲(毎月測定)

1-2歳児 — 身長・体重(毎月測定) 頭囲・胸囲(4月・8月・12月測定)

3歳以上児 — 身長・体重(毎月測定) 頭囲・胸囲(4月・10月測定)